

グラスポリマー(疎水) 取扱説明書

施工時・使用上のご注意

※ボディ温度が高い場合や直射日光での施工は避けてください。シミやムラになる恐れがあります。

※風が吹き込む場所での施工を避けてください。グラスポリマーが乾き易くシミやムラになる恐れがあります。

※劣化した塗装には効果が発揮できない場合がございます。

※以下の箇所及び素材には使用しないでください。

- 車のウインドウガラス、バイクのシールドなど視界に関わる箇所
- しば仕上げ面、つや消し仕上げ面、ポリエチレンやポリプロピレン等の軟質プラスチック
- タイヤ、ゴム、レザー
- 塗装が弱い箇所(ナンバープレートやホイールキャップなど)
- ポリマー加工など特殊処理を施した面
- 表面処理が弱いメッキ
- 滑ると危険な箇所

— 商品情報 —



— インスタグラム —



ご使用方法は、裏面をご覧ください。

【4L】

【300ml】



ご使用方法

① 事前準備

- 施工は、屋内または屋根のある日陰で行ってください。
- 最初に、ボディ全体に十分に水をかけ、砂や埃などの付着物を洗い流してください。
- 次に、洗車シャンプーなどを使用して丁寧に洗浄してください。
- シャンプーが残らないよう、十分な水でよく洗い流してください。

※注意：炎天下での洗車は、水道水や洗剤の乾燥によりボディを傷める原因となりますので避けてください。



② 鉄粉の除去

- ボディに触れてザラつきを感じる場合は、鉄粉が付着している可能性があります。この場合は、鉄粉除去剤または鉄粉取り粘土をご使用ください。
- 鉄粉除去剤を使用する場合：ボディ全体に均一に噴霧してください。1～2分ほどで付着した鉄粉が紫色に反応します。その後、十分な水をかけながら、洗車用スポンジで鉄粉除去剤を洗い流してください。
- 鉄粉取り粘土を使用する場合：ボディに水をかけながら、粘土を縦横に滑らせるようにして鉄粉を除去してください。

※注意：ボディに噴霧した鉄粉除去剤は、乾燥する前に必ず水で洗い流してください。



③ グラスポリマーの塗布

- シャンプーなどが完全に洗い流され、ボディがキレイな状態であることを確認してください。
- ハンドワイパーなどで余分な水分を取り除いてください。ボディが軽く濡れている程度が、施工に適した状態です。
- ボトルをよく振ってからご使用ください。
- ボディから10cm～20cm離して、濡れた状態のボディに直接スプレーしてください。
- 施工開始時は、クロスに液剤が馴染んでいないため、やや多めに噴霧してください。
- その後は、約30cm～40cm四方の範囲ごとに1プッシュを目安に噴霧してください。

※注意：噴霧量が少なすぎると、十分な効果が得られない可能性があります。



④ 拭き取り

- 液剤を噴霧後、すぐにきれいなクロスで液剤を均一に伸ばすように塗り込んでください。
- 塗り込みと同時に、残っているボディの水分も拭き取ってください。
- 使用中の拭き取りクロスは、時々絞って水分を取り除きながらご使用ください。

※注意：液剤を拭き取らず放置すると、ムラやシミの原因となりますので、必ず速やかに拭き取ってください。
窓ガラスの水分を拭き取る際は、グラスポリマーを拭き取ったクロスを使用しないでください。
グラスポリマー剤が付着すると、視界不良を引き起こす恐れがあります。

